

(1 学年) (国語・国語総合)

一斉学習

(単元) 故事成語「虎の威を借る」

(本時のねらい)

訓点に従って本文を読み、漢文に慣れる。

(ICT 活用方法)

返り点、歴史的仮名遣いに注意しながら読む順番や読み方を説明するために、電子黒板を用いて本文を表示しながら説明する。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T 活用方法
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 故事成語について知る。「虎」「狐」にどのようなイメージがあるか確認する。 		
展開 30分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 範読を聞いた後、一斉読みを行う。 ・ 個別読みを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子黒板に漢文を表示し、読む順番を示しながらゆっくりと読む。 ・ 電子黒板を使って、注意すべき点を再度確認させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子黒板に漢文を表示し、歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して書き込む。また、返り点に従って読む順番を数字で示す。 ・ 書き込みを行った部分を電子黒板で再度表示し、確認する。
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢文のリズムに慣れて読めるようになることが、漢文学習の第一歩であることを知る。 ・ 次の時間の学習内容を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何度も読んで漢文のリズムに慣れるように話す。 	

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

従来は口頭で説明したり、難しい部分は黒板に板書したりして説明していた。しかし、口頭では説明箇所が分かりにくかったり、板書は時間がかかったりしていた。電子黒板に表示した本文に読む順番を数字で示したり、現代仮名遣いで読み方を書いたりすることで、

20101 国語総合_3_一斉_故事成語「虎の威を借る」

分かりやすくなった。説明箇所が分からないという生徒がほとんどいなかった。全体を表示すると、説明箇所は分かりやすいが、書き込んだ字が小さくなって、教室の後ろの方では少し見えにくいようだった。